

第 97 回大腸癌研究会リンパ節委員会 議事録

令和 4 年 7 月 7 日 (木) 9:00~10:00

浜松コンベンションホール 5F 大ホール A+WEB

出席者(敬称略、順不同): 金光幸秀、神藤英二、小澤平太、小川真平、野澤宏彰、渡邊 純、須藤 剛、川村純一郎、秋吉高志、吉田武史、川合一茂、大内晶、片岡幸三、安井昌義、池田 聡、丸山 聡、塩澤 学、高山裕司、女屋博昭、高見澤康之

【議事】

- (1) 新委員長あいさつ
- (2) 委員自己紹介
- (3) リンパ節委員会の役割と活動要旨(金光委員長)
新体制となって初回の委員会であり、金光委員長よりリンパ節委員会の役割と活動要旨が委員に周知された。
- (4) 2016 年以降にされた検討課題の確認
以下の検討課題について進捗の確認がされた
 - i) 側方領域の境界に関する検討(渡邊委員)
 - ii) 新規 N 分類の Stage への応用(神藤委員)
 - iii) MRI および転移危険因子からの下部直腸癌側方郭清省略症例選別の検討(小川委員)
 - iv) 側方リンパ節についての更なる検討(神藤委員)
 - v) RS 癌における DM、PM についての検討(小澤委員)
 - vi) SMA 系リンパ節(D2,D3 の定義、郭清範囲)に関する検討→別プロジェクトに合流
 - vii) 肛門管癌(腺癌)に関する検討→別プロジェクトに合流
 - viii) 脾弯曲部癌におけるリンパ節転移状況と頻度に関する検討(渡邊委員)
 - ix) 鼠径リンパ節転移に関する検討→別プロジェクトに合流
 - x) 大腸癌傍大動脈リンパ節転移症例の検討→別プロジェクトに合流
 - xi) 大動脈傍大動脈リンパ節転移左右差の検討→別プロジェクトに合流

i)に関しては過去の委員会で意見の合意が出来ず進捗がないままであったが、リンパ節委員会で検討すべき内容であり、今後の継続を検討する方針となった。iii)についてはリンパ節委員会の活動要旨からは逸脱するため、今後の活動には含めない方針となった。

(5) 今後の検討課題について（規約改訂に繋がる検討）（金光委員長）

半年後の委員会で数個のテーマを決定し、今後の課題として検討していく方針が周知された。金光委員長からは、テーマの例として、

- i) リンパ節検索個数に関する検討（12個のエビデンスと意味合い）
- ii) リンパ節転移陽性基準に関する検討
- iii) 側方リンパ節、#260, #270, #280 の取扱いに関する検討
- iv) N分類の細分化に関する検討

などが挙げられた。委員からも新しいテーマをメールにて募集し、次回の委員会で検討する方針となった。

【投稿中論文】

1. J. Watanabe et al. A Nationwide Multicenter Cohort Study on Mapping of Lymph Node Metastasis from Splenic Flexural Colon Cancer.
2. E. Shinto et al. Lateral node metastasis in low rectal cancer as a hallmark to predict recurrence patterns.

（文責：高見澤康之）